

令和6年度認知症看護研修

【認知症高齢者に関する基本的知識と具体的な対応方法に加え、入院中に必要な認知症高齢者の看護に関する専門的知識と技術を習得する。】

を目的とした研修を開催し、東日本地区管内病院より109名が参加しました。

- 講義 《認知症の病態》講師：医師
《認知症の看護、倫理、ACPIについて》講師：認知症看護認定看護師



事例が多く、
看護の実際を
イメージしやすい
講義でした

- グループワーク 《これまで関わった認知症事例について
倫理的課題と意思決定支援についての現状と今後の取り組み》

複数の施設で
グループワーク



グループワークの内容を
積極的に発表し、全体で
意見交換をしました



● 受講生の声

- ・ 認知症のスペシャリストから講義が聞けて良かった。
- ・ 認知症患者に携わる中で、拘束などにジレンマを抱えていたが、対応方法を学ぶことができた。
- ・ 倫理的問題やACPIについて実際の事例でグループワークをして学びになった。一人ではアセスメントが不十分だったが、グループワークで考えることで気づかされアセスメントが深まった。

担当者より
事例を取り入れた講義が多く、具体的にイメージをすることができ学びが多かったようです。講義、グループワークで得た学びを今後の看護実践へ活かしてほしいと願います。

